

平成20年度 豊前支部研修会の活動報告書

豊前支部 橋本 誠也

1. はじめに

豊前支部では、さる9月9日（火）に県庁企画交通課技術調査室の鍋山検査員を講師にお招きして、『設計VE研修会』を開催しました。当日は、16名の会員の方に参加して頂きました。

『設計VE』については、福岡県ではまだ緒に就いたばかりで、詳しい内容を理解している人は少ない状況です。福岡県でも、平成18年度から着手し、『VE基礎研修』を年に1～2回開催し、約80名が受講済みとの事ですが、残念ながら、豊前支部では受講している人はいませんでした。そこで、VEリーダーの資格をもっている、鍋山検査員に、講師をお願いして、少しでも『設計VE』の内容を理解してもらい、少しでも『設計VE』に興味を持ってもらえればと、今回の研修会を企画しました。

2. VE研修の内容

今回の研修では、パワーポイントを用いて、大きく4つの項目についてお話し頂きました。

(1) 設計VEの概要

設計VEとは何かという根本的なところから、ご説明して頂きました。設計を行う場合、機能を維持しながらコスト削減を図るのか、コストはそのまま機能の向上を図るのかを考える必要があります。特に、限られた予算の中で、必要な機能・品質を確保しつつ、よりコストパフォーマンスの高いインフラ整備を行う必要がある土木技術者にとって、今後ますます必要になる手法です。

(2) 福岡県の状況

現在、約80名の方が、『VE基礎研修』を受講済みで、VEリーダーの資格取得者も約20名いるという事でした。今後、今回の研修で『設計VE』に興味を持った豊前支部の方が、『VE基礎研修』受講やVEリーダー等の資格取得に、積極的に取り組まれる事を大いに期待します。

(3) 事例と演習

参加者を3つのグループに分けて、実際の事例を元に、2つの演習を行いました。その都度、各グループで討議を行い、その内容を各グループから発表してもらいました。一方的な講義だけでは単調になりがちですが、グループで自由に意見を交わせる演習形式を取り入れる事により、最後まで集中して研修会に参加する事が出来ました。

(4) 質疑応答

福岡県で今まで実践された『設計VE』の件数、事例、今後の予定等の質問が出ました。実践VEはまだ3～4例程度ですが、今後更に拡大していく予定との事でした。

3. おわりに

通常『VE基礎研修』の場合は、3日間連続の研修になるのですが、今回は、その内容を3時間程度に凝縮して説明して頂いたので、『設計VE』のほんのさわりしか触れる事は出来ませんでした。しかし、『設計VE』初心者にとっては、途中事例に基づいた演習等もあって、『設計VE』を理解するには、大変有意義な研修になったと思います。

最後に、業務のお忙しい中、講師を快く引き受けて下さった鍋山検査員には、この場を借りて、厚く御礼を申し上げます。本当に有り難うございました。

支部活動報告



支部長による開会挨拶



『設計VE』研修会 講義状況



各グループによる発表状況(1)



各グループによる演習状況(1)



各グループによる演習状況(2)



各グループによる発表状況(2)